

校長室だより

令和2年度 第6号
2020年9月30日発行
江津市立江東中学校

校長 大野 淑子

少年の主張大会

自分と正面からじっくりと向き合い、自分が日常生活を通じて日頃から考えたり感じたりしていることを深め、まとめあげてみんなに向けて発表していく、この「少年の主張大会」には毎年全校生徒が参加をします。まず、学級で意見や考えを発表し合い聞き合うことを通して、互いの良さに気づいたり、新たな発見があったり、より深いところで仲間を感じる機会になっています。そして代表が、校内大会、江津市大会へと進んでいくわけですが、本年度本校代表として市大会に臨んだのが、1年：平野莉理さんと、2年：島田らむさん。地場産業センターで開催された市大会では、聴衆として本校全校生徒が見守る中、二人ともしっかりと自分の意



9/2<少年の主張江津市大会>

- ◆平野莉理さん「家族の大切さ」(優良賞)
- ◆島田らむさん「好きになることは素晴らしい」

見を主張しました。結果として島田さんが最優秀賞を受賞し県大会江津市代表となりました。本年度県大会は DVD 審査。生での発表の機会がなくなったのは残念ですが、気持ちを込めた発表 DVD が作成できました。

体育祭<9/5(土)>

大型台風が近づく中、早朝には雨もぱらつき、新型コロナウイルス感染防止対策、熱中症予防対策、悪天候対応策、といくつもの対策を準備しての開会となりました。が、結果は過ごしやすい天候と保護者の皆様のご協力で、爽やかに体育祭を行うことができました。



今年、生徒たちには、“発声・接触への対応”という課題を抱えながら競技内容を考え、応援合戦を工夫するという例年にない苦しさがありました。当日、それぞれが力を発揮し、仲間と共に楽しみ喜び合った体育祭でしたが、状況の中で、考えながら、できること、やりたいことを具体化していった体育祭でもありました。



軍手で綱引き ←

長縄：8の字跳



3年:第2回江津まちづくり講話(9/17)

講師:作野広和 先生
(島大教育学部教授)

「ふるさとに生きることについて考える」

江津市の課題は?と問われると、人口減、少子化、高齢化、娯楽面、雇用面、また、お店が少ない…等々の答えが返ってきます。それらの課題を踏まえ、テーマをもって江津市の未来のまちづくりを考え提案する、という学習を3年生が行っています。

今回は、島根大学から江津市の空き家の研究などもしておられる作野広和先生をお迎えし、まず、生徒の中間発表としてパネルディスカッション形式で各班の発表を行いました。(フロアからかなり突っ込んだ意見や質問も出ました。)

それを踏まえて第2部。作野先生がファシリテーターとなって、生徒たちに考えさせながら生徒自身が後半の学習の方向性をつかんでいけるような活動。

第1部<私たちの活性化対策パネルディスカッション>



第2部<活性化対策の方向性は?>



ここで、生徒たちが望む江津というのが、「人口が増えてにぎやかである」「商業施設や産業施設がたくさんある」…、というような活性化状態ではなく、「楽しく幸せに生活できる」「笑顔で過ごせる」という点にあることがはっきりしました。それこそがみんな(中学生)が学習で目指すことではないか、どうしたらみんなが幸せになれるかを具体化していくのがみんなの学習ではないか、と。

第3部では、未来に向けた江津のまちづくりに、積極的に元気に取り組んできていらっしゃる活動などを見せていただきました。これもまた大いに参考になることでした。

第3部<活性化への取り組み>



島根県・江津市PTA連合会表彰 藤井 拓次郎 様

長年にわたってPTA活動にご尽力いただき、ありがとうございました。体育祭 開会式に先立ち、現PTA会長 古川様より、表彰状をお渡しいたしました。

